

2017年 診療報酬調査 調査結果

目的	視能訓練士が施行する検査件数と診療報酬の現状を把握する。
対象	日本視能訓練士協会の理事またはブロックから推薦された視能訓練士が勤務する大学病院（12施設）、総合病院（6施設）、個人眼科（3施設）
方法	検査実施総件数を従事する視能訓練士総数で割り、1週間あたりの視能訓練士1名が施行した検査数とその値から保険点数に換算した。1週間の各検査の件数とその保険点数の値をもとに、4週間の生産性を調査した。
調査期間	2017年12月～2018年1月の任意の連続する1週間
要約	<p>2012年の調査から検査項目に大幅な変更はありませんでした。変更があったのは「眼底カメラ撮影」がアナログとデジタルに分けられ、点数改正があったこと、「コンタクトレンズ検査料」は1～4に細分化され、保険点数も変更となっていました。</p> <p>今回の調査結果は、前回の調査に比べ、全施設（大学病院、一般病院、眼科病院・個人眼科）の平均は、前回の平均に比べ、1ヶ月あたりの検査件数は+124件（+3.47%）と増加していました。保険点数はそれを大きく上回る+22884.97点（+17.8%）増加していました。施設区分では、一般病院では検査件数・保険点数とも減少していましたが、大学病院と眼科病院・個人眼科で検査件数が大幅に増加していました。</p> <p>「眼底カメラ」の件数は全体では+13.3件増加、「コンタクトレンズ検査料」はほぼ横ばいでした。よって、前回の調査から変更となった検査項目によるものではありませんでした。今回の調査で検査件数が大幅に増えている項目は、「眼底3次元画像解析」で、1週間の件数が大学病院では+15.43件、一般病院では+4.58件、眼科病院・個人眼科では+30.16件増と特に眼科病院・個人眼科で大幅に増加していたことから、眼科病院・個人眼科にも導入が進み眼科診療でのウエイトを占めていると考えられます。また「静的視野検査」の件数も眼科病院・個人眼科で+22.03件増加していました。これらのことから、保険点数も大幅に増加していると考えられます。</p> <p>今回の調査から、新しい検査機器の開発と導入や、検査機器の発展により、視能訓練士が果たす役割はさらに増していると考えられます。</p>

4週間換算 合計数×4	検査項目	点数	大学病院 (12施設)		一般病院 (6施設)		眼科病院・個人眼科 (3施設)	
			平均 件数※1	平均 点数※1	平均 件数※1	平均 点数※1	平均 件数※1	平均 点数※1
	超音波検査法 (A-mode)	150	0.57	86.04	2.61	391.33	0.83	125
	超音波検査法 (B-mode)	350	1.11	388.78	0.31	109.38	0.3	105
	脳誘発電位検査	670	0.06	37.22	0.03	21.78	0	0
	眼底カメラ撮影 (アナログ撮影)	54	0	0	0	0	1.33	72
	広角眼底撮影加算	154	0	0	0	0	0	0
	眼底カメラ撮影 (デジタル撮影)	58	23.65	1371.6	6.26	363.06	3.65	211.7
	広角眼底撮影加算	158	0.42	65.83	0	0	0	0
	眼底カメラ撮影 (FAG)	400	1.62	649.08	0.69	275	4.2	1680
	眼底カメラ撮影 (FAG) 広角眼底撮影加算	500	0.31	152.78	0	0	0	0
	眼底カメラ撮影 (FAF)	510	5.34	2723.44	0.33	170	0.25	127.5
	眼底カメラ撮影 (FAF) 広角眼底撮影加算	610	0	0	0	0	0	0
	眼底3次元画像解析	200	33.9	6779.89	18.69	3737.91	41.1	8220
	細隙灯顕微鏡検査	112	4.84	542.5	0	0	0	0
	網膜電位図	230	0.39	89.6	0.85	195.5	0.15	34.5
	網膜機能精密電気生理検査	500	0.18	91.85	0.06	31.25	0.1	50
	精密視野検査 (片側)	38	2.62	99.68	0.43	16.15	3.4	129.2
	動的量的視野検査 (片側)	195	6.41	1249.4	4.79	933.66	6.97	1358.5

静的量的視野検査（片側）	290	15.73	4560.43	8.62	2500.27	31.83	9231.67
屈折検査	69	39.98	2758.76	16.79	1158.48	32.43	2237.9
屈折検査（調節麻痺剤使用）	138	1.48	204.46	8.33	1148.93	2.27	312.8
調節検査	70	4.74	331.47	1.67	116.77	1.55	108.5
調節検査（負荷調節検査）	140	0	0	0	0	0	0
矯正視力検査（眼鏡処方）	69	2.63	181.47	3.88	267.93	7.4	510.6
矯正視力検査（眼鏡処方以外）	69	75.34	5198.77	85.95	5930.66	106.47	7346.2
精密眼圧測定	82	75.75	6211.51	80.52	6602.62	76.83	6300.33
精密眼圧測定（負荷精密眼圧測定）	137	0	0	0	0	0	0
角膜曲率半径計測	84	14.05	1179.92	12.27	1030.64	24.97	2097.2
角膜形状解析検査	105	2.99	313.85	0.55	57.75	4.25	446.25
光覚検査（アダプトメーター等）	42	0	0	0	0	0	0
色覚検査（アノマロ、色相配列）	70	0.42	29.41	0.44	30.46	0.37	25.67
色覚検査（ランタン、検査表）	48	0.14	6.48	0.57	27.56	0.37	17.6
眼筋機能精密検査及び輻輳検査	48	6.45	309.65	3.88	186.07	3.63	174.4
眼球突出度測定	38	0.13	5.03	2.02	76.77	0	0
光学的眼軸長測定	150	4.3	644.7	2.64	396	6.93	1040
ロービジョン検査判断料	250	0.18	43.99	0	0	0.2	50
角膜知覚計検査	38	0	0	0	0	0	0
両眼視機能精密検査（両眼単視検査）	48	6.3	302.2	3.48	167.11	8.3	398.4
立体視検査	48	4.5	216.21	12.77	612.79	2.17	104
網膜対応検査	48	3.23	154.81	3.03	145.64	1.2	57.6
細隙燈顕微鏡検査（前眼部）	48	4.55	218.5	0	0	0	0
涙液分泌機能検査	38	0.41	15.47	0	0	0	0
眼球電位図（EOG）	260	0	0	0.13	32.93	0	0
角膜内皮細胞顕微鏡検査	160	4.38	701.19	10.54	1686.33	8.17	1306.67
レーザー前房蛋白細胞数検査	160	1.12	179.66	0	0	0	0
瞳孔機能検査（電子瞳孔計使用）	160	0	0	0	0	0	0
中心フリッカー試験	38	2.55	96.74	0.64	24.14	2.9	110.2
行動観察による視力検査（PL）	100	0.22	22.22	2.22	222.22	0	0
行動観察による視力検査（乳児視力測定）	60	0.86	51.61	0	0	3	180
コンタクトレンズ検査料1	200	1.02	203.7	1.43	285.48	4.67	933.33
コンタクトレンズ検査料2	180	0	0	0	0	0	0
コンタクトレンズ検査料3	56	0	0	0	0	0	0
コンタクトレンズ検査料4	50	0	0	0	0	0	0
視能訓練（斜視）	135	1.33	180	0.25	33.75	2.75	371.25
視能訓練（弱視）	135	1.23	165.47	0.23	30.51	2.95	398.25
合計		357.41	38815.37	297.88	29016.83	397.88	45872.22

※青文字の検査項目列は2012年以降保険点数が新設または改正された部分

※1 1週間の値

本調査は需給委員会が実施し、本資料は広報部にて編集した。